

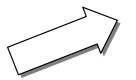
備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-03-01
事務事業名	都市計画総括事業		根拠法令・要綱等
事業開始年度	S.9		都市計画法
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	担当課(室)
	小項目 施策	地域地区	都市整備課
		職・氏名	都市建築係長 磯本直紀
		電話	0869-64-1834

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市内居住者及び来訪者
目的(何のために)	都市の健全な発展と秩序ある整備を行う
行政活動(どのような方法で)	都市計画の計画決定や変更及び都市計画全般に関すること
事業の意図する成果(どのような状態にしたのか)	都市の健全な発展と秩序ある整備を行うための審議

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	都市計画審議会運営	回	1	0	1
	都市計画事務	式	1	1	1
	事業費				
	直接事業費		381	157	247
	人件費	千円	2,229	1,373	4,341
	事業費計		2,610	1,530	4,588
	財源				
	国・県・市支出金	千円			
	受益者負担				
一般財源		2,610	1,530	4,588	
必要人員	人	0.26	0.16	0.49	
結果指標①	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	都市計画審議会運営回数	説明			
	結果指標量	回	1	0	1
	対前年比	%	-	0.0%	-
	活動コスト	円	2,610,000	1,530,000	4,588,000
	単位当たりコスト	円	2,610,000	1,530,000	4,588,000
結果指標②	結果指標量	人			
	対前年比	%	-		
	活動コスト	円			
	単位当たりコスト	円			

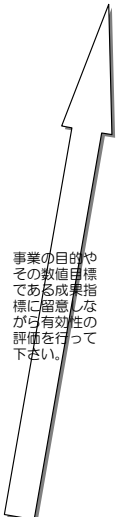
事業の成果			
成果指標名	都市計画審議会運営回数	式又は説明	都市計画審議会運営回数/年1回
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	1.00	0.00	1
対前年比	-	0.00%	100.00%
到達目標値	1	到達目標年度	毎年度



事業の目的、対象、内容を考えながら目的・意図の適切性を評価して下さい。



事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。



事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 関法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A~E> 課題認識 C
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 対象を明確にしている	都市の健全な発展と秩序ある整備を行うことにより、均衡ある国土の発展を促し、公共の福祉の増進を図る
	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	
	事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
市の関与	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A~E> 課題認識 C	
効率性の評価	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	市の現状と将来を考慮し、費用対効果を常に念頭に入れて事業を検討していくが、人件費の増については実績で計上している。
	職場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	市のまちづくりの具現化となるハード整備の必要性の検討
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成20年度の状況		説明	都市計画審議会の開催を予定している
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量①	1回	結果指標量②
	成果指標量		1回

総合評価		評価区分<A~E>	C	
都市計画は市の基本であるが、社会情勢の変化に応じてある程度の計画見直しを行っていく必要がある				

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果